

副理事長 松尾 研士

近年、情報化社会が進み個人情報の流出や保護者を通さずに様々なものにアクセスできる状況となり、複雑なトラブルに関するリスクも大きくなっています。また、異常気象による自然災害が毎年発災し、いつ我が身に降りかかるかわからない不安を抱えながら過ごしている人も少なくありません。変化し続ける日常の中で私たちは明るい豊かな社会の実現を目指し、時代の先を見据えた運動を地域のリーダーとして展開していくことが必要です。

まずは、副理事長として理事長を補佐し、八女J Cの運動に参画する意義をメンバーへ伝えるために、理事長の考えを十分に理解し、落とし込みを図り意識改革に努め学びの機会を提供することで、これまで以上にリーダーシップを備えた人財へと成長することにつながります。そして、八女地域の抱える課題を解決へと導くために、先輩諸兄姉から受け継いだ想いや新しい情報を収集し抽出を行うことで、革新的なアイデアを生み出し、より魅力的な八女地域となるように運動を展開していきます。さらに、八女J Cが地域から必要とされる団体であるために、行政との連携をより密にし、災害等の発災時に誰よりも当事者意識を持ち、迅速かつ積極的に行動に移すことで、地域に貢献し必要不可欠な存在となります。また、私たちが永続的に存続する組織となりJ C活動や運動をより効果的なものとするために、これまでに培ってきたJ Cでの経験と魅力を発信し、会員拡大に積極的に取り組み新しく入会したメンバーを定着させることで、組織の活性化につなげ今後のJ C活動や運動に一丸となって取り組むことのできる体制を構築します。

理事長の掲げるスローガンのもと一致団結し、メンバー一人ひとりが成長し地域を牽引するリーダーとなり、これからの明るい八女地域の未来を創造します。私たちJ Cが地域により良い変化をもたらすために何事にも恐れることなく、一心に挑戦してまいります。